



2019 明石北高 Q&A

Q1 明石北高は理系というイメージがあります。私は将来、文系学部への進学を希望していますが、大丈夫でしょうか？

A1 文系クラスと理系クラスが半々です。難関大学の文系学部に進学した先輩がたくさんいて、これまでに培った受験指導のノウハウもあります。文系学部への進学もしっかりサポートします。

Q2 勉強と部活動の両立はできるのでしょうか？

A2 勉強と部活動の両立は、高校生には大きな問題です。1年生は93%以上が部活動に積極的に参加し、学習にも熱心に取り組む成果を上げています。質の高い文武両道を合言葉に生徒たちは日々がんばっています。



ノール君は2007年に北高生が作成したマスコットです。2016年には着ぐるみも登場しました。

Q3 自然科学科はどのような特色があるのでしょうか？

A3 自然科学科は理数の専門学科で、「理数」という専門教科を学習します。「理数」とは「理科」と「数学」の融合教科であり、『理数数学』『理数物理』『理数化学』『理数生物』などの科目を含みます。この他、明石北高校独自の科目として『科学英語』や『科学・技術・社会』などがあります。本校では2010年度よりSSH（スーパーサイエンスハイスクール）に指定され、その研究成果が評価され、2015年には5年間の継続研究の指定を受けました。さらに2020年度からの継続指定をめざし、より専門性の高い授業や行事を展開しています。

Q4 進路希望はどうなっていますか？

A4 ほとんどの生徒が4年制大学への進学を希望しており、難関国公立大学を目指す人がとても多いです。また、短大や専門学校への進学や公務員・就職の希望者もいます。明石北高では一人ひとりの適性を見きわめ、希望に沿った進路支援（補習・面談・個別指導）を進めています。



Q5 特徴のある、おもしろい授業はありますか？

A5 自然科学科にはもちろん、普通科にも「分野別日本史の探究」「表現実技美術」「生活理科」などの学校設定科目、「フードデザイン」などの専門科目、総合的な探究の時間には「硬筆書道」「時事英語」「フィットネス&トレーニング」「生命の科学」といった講座があります。

Q6 SSH(スーパーサイエンスハイスクール)は、自然科学科だけの取り組みですか？

A6 SSHは自然科学科だけでなく、普通科も含めた明石北の全校的な取り組みです。海外研修・東京研修・京都研修は普通科の生徒もたくさん参加しています。また、専門研究者を招いての特別授業・科学講演会なども、全校生徒対象に実施しています。

Q7 塾に行かないと、勉強についていくことや希望大学に合格することは難しいですか？

A7 高校生になると、授業の予習・復習や課題をする時間が増え、部活動の時間も長くなります。時間に余裕がありさらに勉強をしたくて塾に行く生徒もいますが、学校の授業や補習を大切にしていれば大丈夫です。塾に頼ることなく、家庭学習にしっかりと取り組むことで、目標大学に現役合格した生徒も少なくありません。

Q8 在校生が選んだ「明石北の良いところ」を教えてください。

A8 1位 お互いにかんばることができる環境
2位 部活や行事もしっかりと取り組み、盛り上がる
3位 学食がおいしい
がベスト3です。



(環境がすばらしいんだ)

Q9 2015年から学区拡大となりましたが、どのような地域から通学していますか？

A9 全校の約12%の生徒が、新しく学区となった播磨町・稲美町・加古川市・高砂市・小野市から通学しています。また、隣接区域の神戸市西区や淡路市から通学している生徒もいます。

Q10 自転車通学はできますか？

A10 届けを出せば誰でも自転車通学は可能です。80%以上の生徒が自転車通学です。交通ルールとマナーを守り、安全に注意して通学しましょう。ちなみにバス利用者は60人弱です。JR大久保駅から歩いて通学している人もいます。校長先生も大久保駅から歩いていきますよ。
(学校説明会やオープンハイスクールでの自転車利用については、中学校の先生の指示に従ってください)

Q11 明石北のことをもっと知りたいのですが？

A11 文化祭や体育大会などの学校行事は多くの地域の方に見学いただいています。学校行事の様子を、ホームページに随時掲載しています。
URL: <http://www.hyogo-c.ed.jp/~meihoku-hs/>
文化祭・体育大会は平日に開催しますので、中学生は見に来ることができません。
学校説明会(8月3日)・オープンハイスクール(11月6、7日)には是非参加してください。

